

病院概要

2026



患者さんに 満足していただける 医療を目指して



ごあいさつ

兵庫医科大学病院 病院長 池内 浩基

地域で選ばれる、安全で質の高い病院を目指します

兵庫医科大学病院は963床、2025年は入院患者数1日809人、外来患者数2,463人（紹介率100.3%、逆紹介率80.0%）、年間手術数9,700件の診療を行う特定機能病院です。41の診療科と31の中央診療施設（感染制御部、放射線医療センターなど）が高度な先進医療を提供しています。2013年に開院した急性医療総合センターには手術センター、救命救急センター、周産期センター、脳卒中センター、ICUなど急性期医療を集約し、災害拠点病院としても機能を発揮します。2023年には地域がん診療連携拠点病院に指定され、2024年4月よりがんゲノム連携病院となり、がんセンターを中心としてがん診療をさらに発展させていきます。

多職種連携のチーム医療という言葉をいろんなところで耳にするようになってきました。多職種連携とは業務分担ではなく、多職種が連携して、相互に影響しあう医療という意味で、医療の質と患者様のQOLの向上のためには無くてはならないものになっています。コロナ渦では感染対策チームの活動が特に重要であったわけですが、栄養サポートチーム、呼吸ケアチームなど、当院には現在21の医療チームがあります。OQL向上のため、各医療チームが努力していきます。

今年9月に新病院の開院を予定しています。現在の病院では施設の老朽化に伴う患者さんからのご意見を多くいただいておりましたが、療養環境は格段に向上するものと思っています。また一方で新病院の建設ラッシュも起こっています。県立西宮病院と市立西宮中央病院が統合して2号線沿いに西宮総合医療センターが、7月に開院します。伊丹市立総合医療センターは開院が遅れそうです。ここで問題となるのが人口減少の問題です。阪神間もすでに人口減少が始まっています。このような状態で純粋な私学である本学が健全な病院経営を維持していくためには、地域の先生方との病診・病病連携を強固なものとし、地域で選ばれる病院にならなければなりません。すべての職員が連携して「オール兵庫医大」で地域で選ばれる安全で質の高い病院を目指して努力してまいります。よろしくお願いいたします。



理念

基本方針

兵庫医科大学病院 倫理要綱

兵庫医科大学病院は、安全で質の高い医療を行い、地域社会へ貢献するとともに、よき医療人を育成します。

- 人権を尊重し、患者の立場に立った医療の実践
- 人間性豊かな優れた医療人の育成
- 高度で先進的な医療や医学研究の推進
- 地域の医療機関との円滑な連携
- 健康増進活動による地域の保健・福祉の推進

兵庫医科大学の建学の精神（社会の福祉への奉仕、人間への深い愛、人間への幅の広い科学的理解）に則り、病院の理念である安全で質の高い医療を提供し、地域社会へ貢献するため、次のことに最大の努力を講じます。

職業倫理

- ・我々は病める人の治療はもとより、人々の健康の維持、増進を図るため、常に医療の知識と技術の習得及びその向上に努める。
- ・我々はこの職業の尊厳と社会的責任を深く自覚し、人格、教養を高めるように心がける。
- ・我々は医療を受ける人々の権利を尊重し、誠実に対応するとともに、信頼を得るように努める。
- ・我々は相互に尊敬し、チーム医療を通して医療に関わるあらゆる安全管理に全力をあげて取り組む。
- ・我々は医療の公共性を重んじ、医療を通して地域社会に貢献する。

臨床倫理

- ・我々は患者さんに公平、公正かつ質の高い有益な医療を提供する。
- ・我々は医療内容や必要な事項について、分かりやすい言葉で丁寧に説明する。
- ・我々は守秘義務と個人情報の保護を徹底する。
- ・我々は関係法令等を遵守するとともに、倫理委員会での答申結果に則り医療を提供する。

患者さんの権利

- 良質で安全な医療を平等に受けることができます。
- 病気や治療について、わかりやすく十分な説明を受けることができます。
- 診療内容をご自身で選択することができます。
- 診療内容について、他の医師の意見を聞くことができます。
- ご自身の診療情報を入手することができます。
- いかなる状況においても人間としての尊厳が守られます。
- プライバシーは常に保護・尊重されます。
- 患者さんの権利に関する「リスボン宣言」を尊重し、患者さん本位の医療を実現することができます。

患者さんへのお願い

- 診療を受けるにあたって、健康状態、お薬の服用状況、その他必要なことは、情報提供してください。
- 診療は患者さんと協同して行いますので、積極的に診療にご参加ください。
- 病院のルールを守り、他の患者さんのご迷惑にならないようご協力ください。
- 大学病院として、将来の医療を担う医学生や看護学生などの臨床実習に加えて、臨床研修医や医療従事者の育成を行っています。ご理解、ご協力をお願いいたします。

子どもの患者さんの権利

- 子どもたちは一人の人間として大切にされます。
(子どもの基本的人権の保障)
- 子どもたちは病院でもできる限り家族と過ごすことができます。
(親と引き離されない権利)
- 子どもたちは入院していても、遊んだり、勉強したりすることができます。
(遊ぶ権利、教育を受ける権利)
- 子どもたちは最善と思われる治療を受けることができ、病院の人は病気や治療に伴う痛みや苦しみをできる限り少なくする努力をします。
(最善の医療を受ける権利)
- 子どもたちは病気のこと治療方法について、年齢や理解度に応じた方法で、わかりやすい説明を受けることができます。
(知る権利)
- 子どもたちは病気のこと治療方法について、十分な説明を受けたうえで、自分の思いや考えを家族や病院の人に伝えることができます。
(意見を表す権利)
- 子どもたちは他の人に知られたくないことは守られます。
(秘密を守られる権利)

概要



名 称	兵庫医科大学病院		
所在地	兵庫県西宮市武庫川町1番1号		
開設年月日	1972(昭和47)年4月1日		
標榜診療科目	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 33%;">◆ 内科 <li style="width: 33%;">◆ 脳神経外科 <li style="width: 33%;">◆ 頭頸部外科 <li style="width: 33%;">◆ 循環器内科 <li style="width: 33%;">◆ 小児科 <li style="width: 33%;">◆ 産婦人科 <li style="width: 33%;">◆ 呼吸器内科 <li style="width: 33%;">◆ 整形外科 <li style="width: 33%;">◆ 眼科 <li style="width: 33%;">◆ 消化器内科 <li style="width: 33%;">◆ 呼吸器外科 <li style="width: 33%;">◆ 放射線科 <li style="width: 33%;">◆ 血液内科 <li style="width: 33%;">◆ 心臓血管外科 <li style="width: 33%;">◆ 放射線治療科 <li style="width: 33%;">◆ 内分泌・代謝内科 <li style="width: 33%;">◆ 皮膚科 <li style="width: 33%;">◆ 麻酔科 <li style="width: 33%;">◆ 糖尿病内科 <li style="width: 33%;">◆ 泌尿器科 <li style="width: 33%;">◆ 歯科 <li style="width: 33%;">◆ 脳神経内科 <li style="width: 33%;">◆ 外科 <li style="width: 33%;">◆ 歯科口腔外科 <li style="width: 33%;">◆ 肝臓・胆のう・膵臓内科 <li style="width: 33%;">◆ 消化器外科 <li style="width: 33%;">◆ リハビリテーション科 <li style="width: 33%;">◆ 腎臓・人工透析内科 <li style="width: 33%;">◆ 乳腺・内分泌外科 <li style="width: 33%;">◆ 救急科 <li style="width: 33%;">◆ リウマチ科 <li style="width: 33%;">◆ 小児外科 <li style="width: 33%;">◆ ペインクリニック・疼痛緩和外科 <li style="width: 33%;">◆ アレルギー科 <li style="width: 33%;">◆ 形成外科 <li style="width: 33%;">◆ 臨床検査科 <li style="width: 33%;">◆ 腫瘍内科 <li style="width: 33%;">◆ 美容外科 <li style="width: 33%;">◆ 病理診断科 <li style="width: 33%;">◆ 精神科 <li style="width: 33%;">◆ 耳鼻いんこう科 		

(41標榜診療科) ※2018年10月1日に変更

病床数	963床(一般：919床、精神：44床)	
土地・建物	敷地面積：42,494.15㎡	建物面積：延98,835.21㎡

職員数

2026年3月1日現在

職 種	人数	
医 師	常 勤	611
	非常勤	73
歯科医師	常 勤	18
	非常勤	3
薬 剤 師	78	
看 護 師	957	
准 看 護 師	3	
助 産 師	30	
管 理 栄 養 士	9	
診 療 放 射 線 技 師	50	
臨 床 検 査 技 師	98	

職 種	人数
臨 床 工 学 技 士	29
理 学 療 法 士	44
作 業 療 法 士	16
言 語 聴 覚 士	12
視 能 訓 練 士	13
歯 科 衛 生 士	6
歯 科 技 工 士	2
ソ ー シ ャ ル ワ ー カ ー	10
看 護 助 手	143
そ の 他	302
合 計	2,507

拠点病院指定状況

区分	指定等の年月
特定機能病院の承認	1994年 3月
災害拠点病院に指定	1996年 10月
阪神南圏域地域リハビリテーション支援センターに指定	2004年 4月
兵庫県エイズ治療中核拠点病院に指定	2007年 7月
地域がん診療連携拠点病院に指定	2008年 3月
肝疾患診療連携拠点病院に指定	2008年 4月
兵庫県認知症疾患医療センターに指定	2009年 4月
兵庫県アレルギー疾患医療拠点病院に指定	2018年 2月
がんゲノム医療連携病院に指定	2018年 4月
兵庫県難病診療連携拠点病院に指定	2019年 4月
小児がん連携病院に指定	2019年 11月
地域周産期母子医療センターに指定	2026年 3月

沿革

1971年 11月	・学校法人兵庫医科大学寄附行為認可 ・兵庫医科大学設置認可	2013年 4月	・病床数 991 床から 963 床に変更承認
1972年 4月	・兵庫医科大学開学 ・兵庫医科大学病院開設	2015年 4月	・健康医学クリニック開設
1994年 3月	・特定機能病院の承認	2016年 2月	・臨床検査室の品質と能力に関する国際規格 ISO15189:2012の認証取得
1996年 10月	・災害拠点病院に指定	2018年 2月	・兵庫県アレルギー疾患医療拠点病院に指定
11月	・エイズ拠点病院に指定	4月	・教育研究棟完成
1997年 10月	・兵庫医科大学篠山病院開設 (現ささやま医療センター)	2019年 4月	・兵庫県難病診療連携拠点病院に指定
2004年 4月	・阪神南圏域地域リハビリテーション支援センター に指定	11月	・小児がん連携病院に指定
2007年 7月	・兵庫県エイズ治療中核拠点病院に指定	2022年 10月	・梅田健康医学クリニック開設
2008年 4月	・肝疾患診療連携拠点病院に指定	2023年 4月	・地域がん診療連携拠点病院に指定
2009年 4月	・兵庫県認知症疾患医療センターに指定	2024年 4月	・がんゲノム医療連携病院に指定 ・(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価 (3rdG:Ver.2.0)認定
		2026年 3月	・地域周産期母子医療センターに指定

★兼任

病院

病院長 池内 浩基
副院長 木島 貴志
副院長 篠原 尚
副院長 廣瀬 宗孝
副院長 山門亨一郎
副院長 木村 卓
副院長 高橋 仁美

診療部

内科 部門長 木島 貴志★
小児科 診療部長 竹島 泰弘
放射線科 診療部長 山門亨一郎★
精神科 診療部長 松永 寿人
皮膚科 診療部長 金澤 伸雄
外科 部門長 篠原 尚★
産科 診療部長 馬淵 誠士
整形外科 診療部長 橋 俊哉
形成外科 診療部長 河合建一郎
泌尿器科 診療部長 山本 新吾
脳神経外科 診療部長 吉村 紳一
眼 診療部長 五味 文建
耳鼻咽喉科・頭頸部外科 診療部長 都築 建三
麻酔科 診療部長 廣瀬 宗孝★
歯科 診療部長 岸本 裕充
口腔外科 診療部長 平田 淳一
救急科 診療部長 内山 侑紀
リハビリテーション科 診療部長 大江 知里

中央診療施設

(診療部門)

総合診療センター センター長 新村 健★
リハビリテーションセンター センター長 内山 侑紀★
ペインクリニック部 部長 高橋 由美子
がんセンター センター長 木島 貴志★
緩和ケアセンター センター長 狩谷 伸享★
肝疾患センター センター長 榎本 平之★
IBDセンター センター長 新崎 信一郎★
血液浄化センター センター長 倉賀野 隆裕★
腎移植センター センター長 山本 新吾★
生殖医療センター センター長 馬淵 誠士★
遺伝子医療部 部長 宮崎 彩子
認知症疾患医療センター センター長 宇和 典子
中皮腫センター センター長 栗林 康造
肥満症センター センター長 小山 英則★
漢方診療センター センター長 中島 正光
医療支援センター センター長 木村 卓★
手術センター センター長 山本 新吾★
アイセンター センター長 五味 文★
救命救急センター センター長 平田 淳一★
熱傷センター センター長 平田 淳一★
ICU 部長 井手 岳
脳卒中センター センター長 吉村 紳一★
周産期センター センター長 竹島 泰弘★
放射線医療センター センター長 山門亨一郎★

(手術部門)

(ケアユニット部門)

(検査部門)

(医療安全部門)

中央部門

看護部 部長 高橋 仁美★
薬剤部 部長 田中 邦佳
放射線技術部 部長 源 貴裕
臨床検査技術部 部長 狩野 春艶
リハビリテーション技術部 部長 笹沼 直樹
臨床心理部 部長 松永 寿人★
医療社会福祉部 部長 木村 卓★
臨床栄養部 部長 倉賀野 隆裕★
臨床工学部 部長 倉賀野 政義
診療情報管理室 室長 倉賀野 隆裕★
質の向上推進室 室長 日笠 聡★

卒後臨床研修センター

センター長 竹田 健太

臨床研究支援センター

センター長 朝倉 正紀★

病院事務部

部長 小寺 斉人

医療チーム※

(関連施設)

ささやま医療センター

病院長 藤岡 宏幸

梅田健康医学クリニック

院長 富田 寿彦

循環器内科 診療部長 石原 正治
血液内科 診療部長 吉原 哲
アレルギー・リウマチ内科 診療部長 東 直人
糖尿病・内分泌・代謝内科 診療部長 小山 英則
消化器内科(肝・胆・膵) 診療部長 榎本 平之
消化器内科(消化管) 診療部長 新崎 信一郎★
呼吸器内科 診療部長 木島 貴志★
脳神経内科 診療部長 木村 卓★
腎・透析内科 診療部長 倉賀野 隆裕
総合内科 診療部長 新村 健

肝・胆・膵外科 診療部長 廣野 誠子
上部消化管外科 診療部長 篠原 尚★
下部消化管外科 診療部長 池田 正孝★
炎症性腸疾患外科 診療部長 池内 浩基★
乳腺外科 診療部長 下田 雅史
小児外科 診療部長 田附 裕子
心臓血管外科 診療部長 坂口 太一
呼吸器外科 診療部長 舟木 壮一郎

画像診断グループ グループ長 池田 譲太
放射線治療グループ グループ長 富士原 将之
IVR診療グループ グループ長 山門亨一郎★
核医学・PET診療グループ グループ長 北 島 一 宏

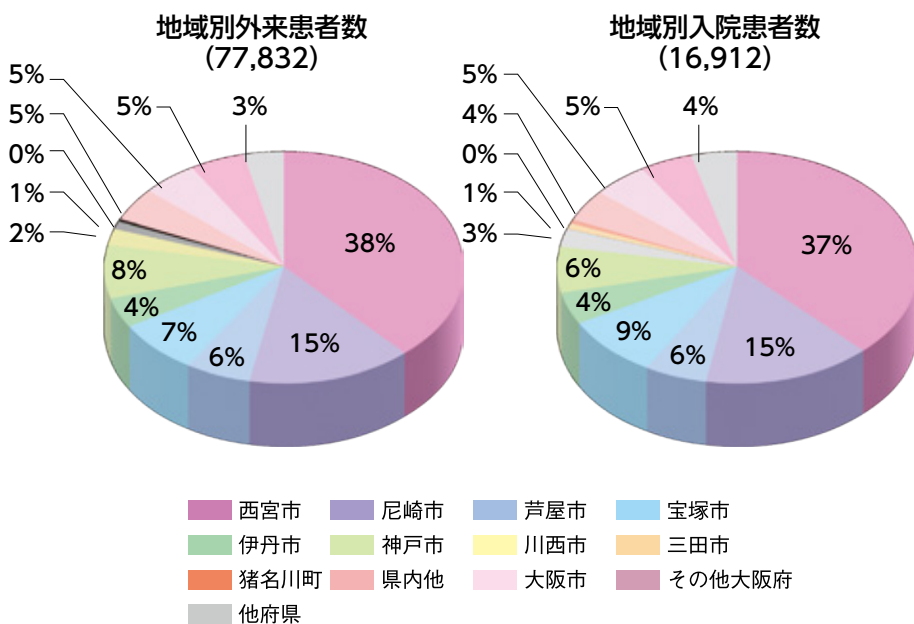
※医療チーム

- 感染対策チーム(ICT)
褥瘡対策チーム
栄養サポートチーム(NST)
緩和ケアチーム
呼吸ケアチーム(RST)
精神科リエゾンチーム
周術期管理チーム
認知症ケアチーム
排尿ケアチーム
抗菌薬適正使用支援チーム(AST)
子どもと家族の支援チーム
報告書確認サポートチーム
身体的拘束最小化チーム
ラピッドレスポンスチーム(RRS)
救命処置(BLS・ALS)推進チーム
臨床倫理コンサルテーションチーム
AYA世代がんサポートチーム
エコーガイド下CVC挿入推進チーム
慢性疼痛集学的治療チーム
災害対策推進チーム
骨盤内臓全摘周術期管理チーム(PE)

管理課、医事課、医療支援課、医療マネジメント課、臨床研究課、医療人教育課

地域別患者数(実患者数)

2025年1月~12月



地域名	外 来	入 院
西 宮 市	29,922	6,422
尼 崎 市	11,405	2,511
芦 屋 市	4,522	972
宝 塚 市	5,823	1,452
伊 丹 市	3,400	737
神 戸 市	5,889	1,081
川 西 市	1,689	423
三 田 市	744	158
猪 名 川 町	336	86
県内その他	3,565	758
大 阪 市	4,004	843
その他大阪府	3,873	777
他 府 県	2,660	692
合 計	77,832	16,912

診療科患者数(延患者数)

2025年1月~12月

診療科	外来延患者数	入院延患者数
内科	212,765	105,730
小児科	12,988	11,983
外科	54,109	53,462
整形外科	31,213	18,898
形成外科	5,964	1,927
脳神経外科	13,616	25,640
皮膚科	18,462	3,195
泌尿器科	21,663	11,902
産科婦人科	23,176	13,572
眼科	38,563	12,102
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	27,770	11,555
放射線科	19,236	1,241
歯科口腔外科	21,428	3,609
ペインクリニック部	9,992	1,259
リハビリテーション部	64,936	-
救命救急センター	620	8,655
遺伝子医療部	288	-
核医学・PETセンター	701	-
総合診療センター	1,777	-
精神科神経科	29,028	10,630
合 計	608,295	295,360

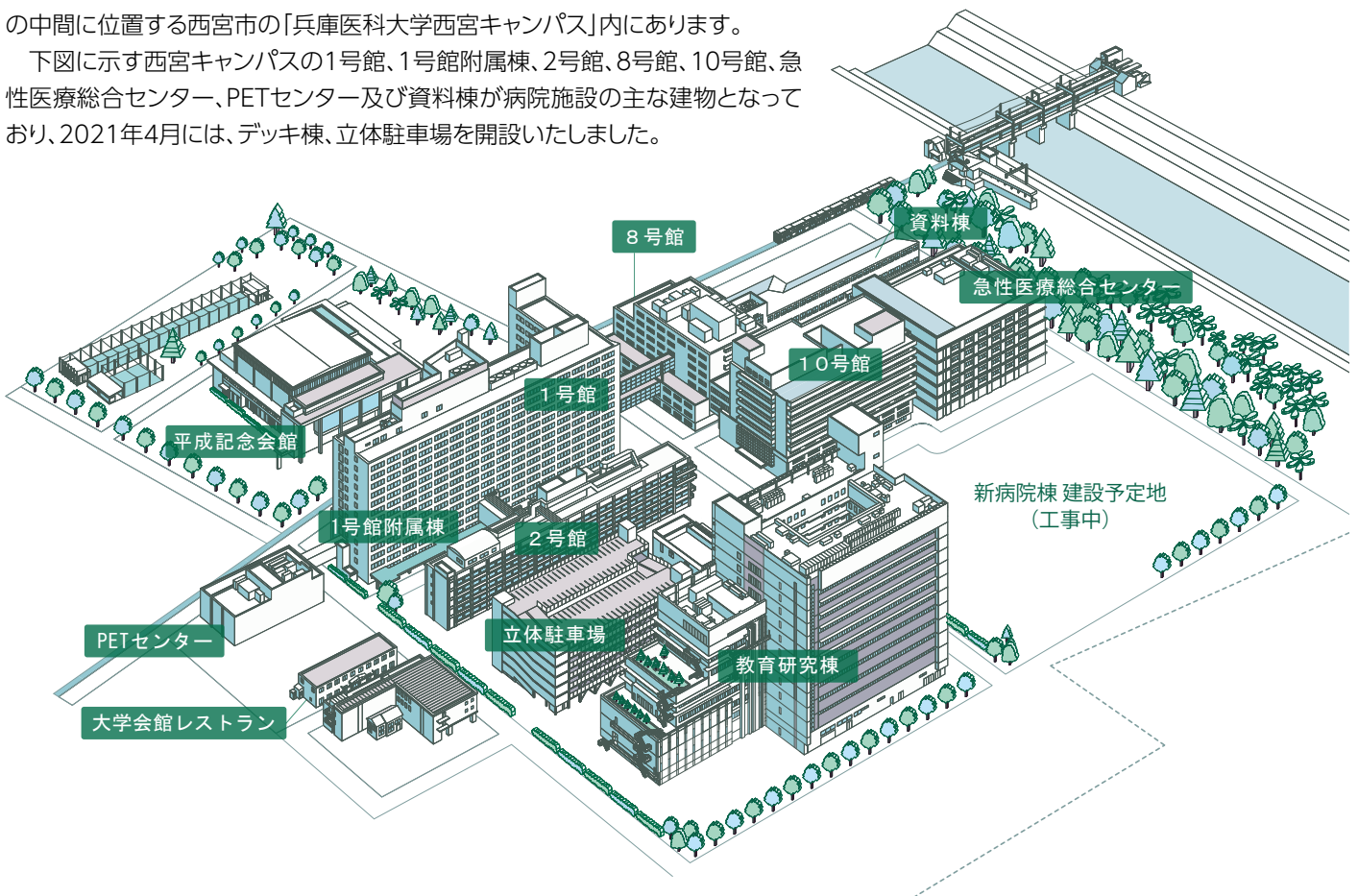
内 科	外来延患者数	入院延患者数
循環器内科	29,892	14,957
血液内科	16,523	16,751
アレルギー・リウマチ内科	20,430	5,468
糖尿病・内分泌・代謝内科	26,345	5,565
消化器内科 (肝・胆・膵)	25,459	10,210
消化管内科 (消化管)	42,563	22,192
呼吸器内科	24,441	17,339
脳神経内科	11,440	5,758
腎・透析内科	12,850	7,330
総合内科	2,822	160
合 計	212,765	105,730

外 科	外来延患者数	入院延患者数
肝・胆・膵外科	7,768	9,987
小児外科	2,289	1,553
上部消化管外科	4,402	4,425
下部消化管外科	8,738	10,627
炎症性腸疾患外科	5,054	6,513
乳腺外科	12,668	3,926
心臓血管外科	4,826	5,972
呼吸器外科	8,364	10,459
合 計	54,109	53,462

建物配置図

兵庫医科大学病院は、六甲の山並みを背景に、大阪と神戸とを結ぶ阪神地区の中間に位置する西宮市の「兵庫医科大学西宮キャンパス」内にあります。

下図に示す西宮キャンパスの1号館、1号館附属棟、2号館、8号館、10号館、急性医療総合センター、PETセンター及び資料棟が病院施設の主な建物となっており、2021年4月には、デッキ棟、立体駐車場を開設いたしました。



病院施設

- 急性医療総合センター：救命救急センター、熱傷センター、IVRセンター、集中治療センター、手術センター、アイセンター、周産期センターなど
- 1号館：初診受付、医療支援センター、外来、病棟、薬剤部、臨床検査部など
- 1号館附属棟：臨床研究支援センター
- 2号館：外来、リハビリテーションセンターなど
- 8号館：外来、病棟、認知症患者医療センター、がんセンター、中皮腫センターなど
- 10号館：病棟、看護部など
- PETセンター：PET検査室など
- 資料棟：診療情報管理室など



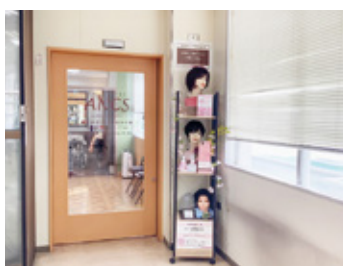
カフェ(1号館附属棟3階)



コンビニエンスストア(1号館附属棟3階)



コンビニエンスストア(10号館3階)



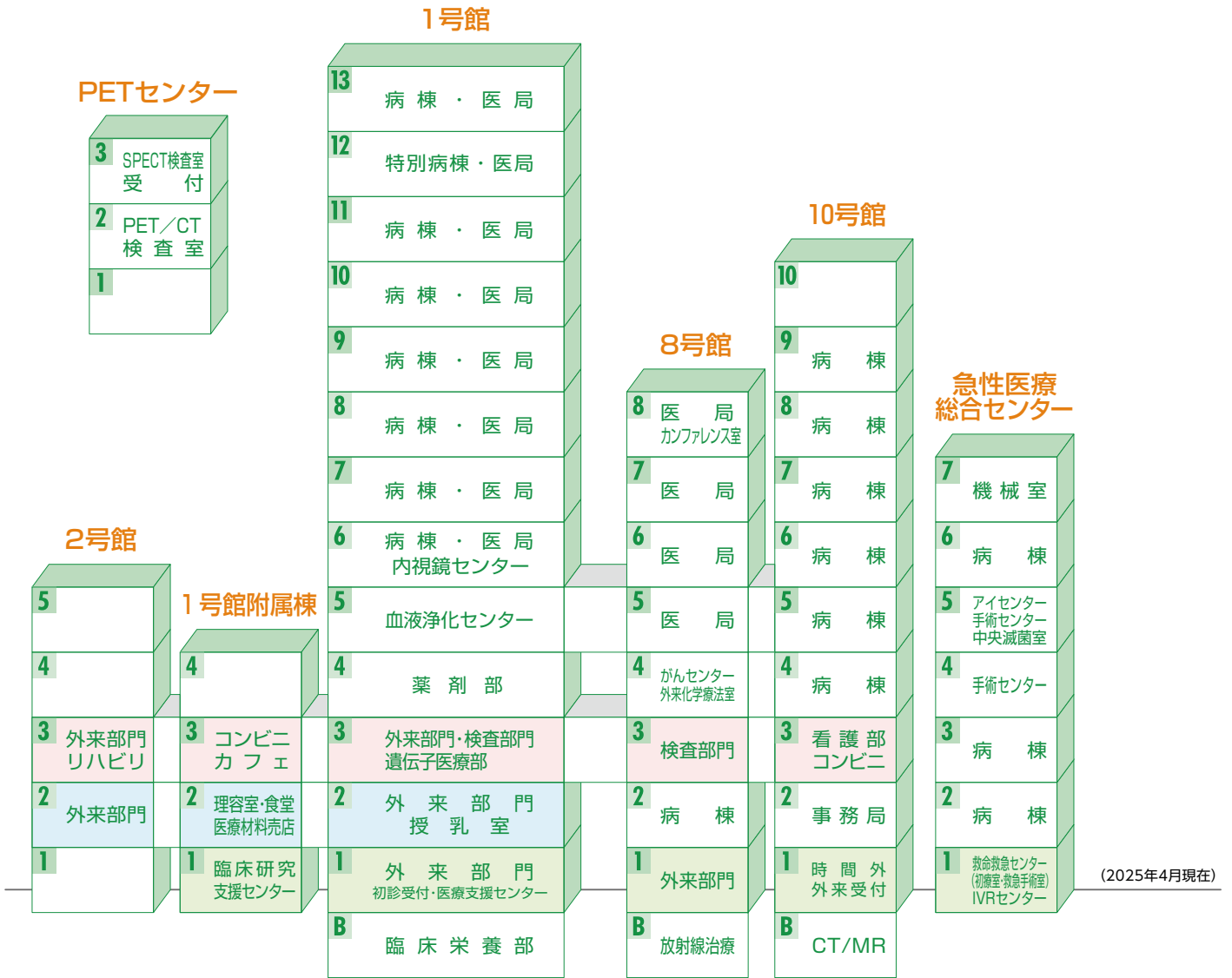
理容室(1号館附属棟2階)



医療材料売店(1号館附属棟2階)



食堂(1号館附属棟2階)



12階 特別病棟

展望の良い1号館12階に、心安らぐ療養環境と高いセキュリティ機能を整備した特別病棟(28床)を設けており、経験豊富なスタッフを揃え、質の高い医療の提供に努めています。



S室(病室)



S室(バスルーム)



病棟入口セキュリティ

※設備・仕様等は、部屋により異なります。

特色

1972年4月の開設以来、医学教育機関として、また阪神地区の基幹病院として、その責務にふさわしいスタッフと最新の医療施設・機器を備え、周辺の医療機関との連携を図りながら、常に質の高い医療を提供しています。

急性医療総合センター

急性医療総合センターは、災害拠点病院及び特定機能病院として、高度医療センターの整備を目的とし、2013年4月に救命救急センター、手術センター、集中治療センター等を集約して配備し、大規模災害時にも機能し得る施設としてオープンしました。



急性医療総合センター

7F	機械室
6F	周産期センター (NICU・GCU・産科手術室など)
5F	アイセンター 手術センター (中央滅菌室)
4F	手術センター
3F	集中治療センター (ICU・HCU)
2F	救命救急センター (EICU・CCU・救急病床など)
1F	救命救急センター (初療室・救急手術室など) 熱傷センター IVRセンター

【急性医療総合センター概要】

建築面積 2,516㎡
延床面積 15,283㎡
構造 鉄筋コンクリート造
免震構造 地上7階建
高さ 35.8m

急性医療総合センターの特徴

急性期医療を担う高度医療センター

急性医療総合センターには、救命救急センター、手術センター、集中治療センターなど急性期医療の中核をなす施設を集約。10号館をはじめとする既存医療機能とも効率的に接続するなどしながら、より高度な医療を展開していきます。

大規模災害時にも機能し続ける医療施設

建物への免震構造の採用や、地階を作らず機械室を最上階に配置するなど、地震や水害(集中豪雨、洪水)などの災害時にも機能し続ける医療施設を目指します。

スタッフのアメニティにも配慮

緊張の続く医療スタッフがくつろぐことのできる専用ラウンジを設けるなど、スタッフのアメニティにも配慮しています。



手術センター

14室の手術室を設置し、血管撮影装置を統合したハイブリッド手術室をはじめ、内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチXi」や手術支援ロボットシステム「hinotori」など、先進的な医療機器を導入しています。



救命救急センター・ 熱傷センター

1階に初療室、熱傷専門処置室、手術室、2階にEICU(救命救急集中治療室)、CCU(冠動脈疾患集中治療室)、救急病床の計42床を設置しました。厚生労働省が毎年実施する救命救急センターの充実度段階評価ではS評価(最高評価)を得ています。大学病院の特性を生かし、病院内の全診療科と連携して、地域の救急医療に貢献しています。



周産期センター

産科一般病床30床のほか、NICU(新生児集中治療室)15床、GCU(新生児治療回復室)12床を設置。地域周産期母子医療センターの許可を受け、阪神地域の基幹病院として、産前産後の一貫した療養を提供しています。



アイセンター

眼科手術の安全性向上と病床運営の円滑化・効率化による患者サービスの向上を目的に設置されています。最新鋭の手術機器を備えた3室の眼科専用手術室と眼科病棟・外来を総合的に管理・運営しています。



IVRセンター

血管造影装置とCTが複合したIVR-CTや、同時に2方向からの透視・撮影が可能なバイプレーン血管撮影装置など、最新鋭の装置を備えた4つのIVR室が設置されています。



集中治療センター

ICU14床と、一般病棟との中間的な働きを担うHCU(ハイケアユニット)24床を設置。手術後の高度な全身管理が必要な場合や、院内の急変などに対応して集中治療を行います。



総合診療センター

専門科がすぐにはわからない、あらゆる症状の初期対応を行い、適切な診断に努めます。当科での継続診療が望ましいと判断した場合は総合内科で、専門診療科での加療が望ましいと判断した場合は、院内外の該当診療科の診療へ引継ぎます。



リハビリテーションセンター

急性期医療を中心に、さまざまな疾患によって生じる障害に対する各種検査や治療をはじめとした総合的なリハビリテーション医療を行っています。また入院患者さんの在宅復帰や回復期リハビリテーション病院等への転院を支援しています。



がんセンター

当センターは、2007年にがん対策基本法の策定を受け、同年11月に開設されました。関連各科横断的ながん診療を展開することで、薬物療法およびゲノム医療において、安全かつ質の高い医療を提供しています。現在当院は、地域がん診療連携拠点病院およびがんゲノム医療連携病院に指定されています。また、がん相談支援センターでは、院内外の患者さんやご家族等の相談支援も行っています。



緩和ケアセンター

緩和ケアセンターには、緩和ケアチームを軸とした多職種のスタッフが所属しており、がん診療に携わるさまざまな部門と連携し、治療と並行して、より早期から質の高い緩和医療の提供を行います。また、地域の病院や、緩和ケア病棟との情報共有・診療連携にも力を入れており、切れ目のない緩和医療の提供をめざします。



肝疾患センター

2008年4月に兵庫県から肝疾患診療連携拠点病院の指定を受け、兵庫県における肝疾患治療の中核病院として位置付けられたことに伴い、県内の他の肝疾患の専門病院、協力医療機関に対して肝疾患に関する指導的役割を担うとともに、当院において肝疾患の横断的治療を高度な水準で提供できる体制を整備する目的で、2008年10月に設置しました。



IBDセンター

炎症性腸疾患 (IBD) の患者さんに対し、メディカルスタッフが協力し、内科・外科及び生活指導や栄養指導などを行うチーム医療を実践。さらに充実した質の高い医療を行うため、2009年1月に組織化、同年5月より外来診療を開始しました。現在、内科2診、外科1診に加えて、ストーマ外来を併設しています。



血液浄化センター

1972年の当院開設時に人工透析部が発足。2001年、水処理装置・透析液供給装置を更新し、衛生的で安全な透析ができるよう最新鋭の装置を導入しました。全科の患者さんを対象に、血液透析、腹膜透析、血漿交換、白血球除去、吸着療法などの治療と在宅療養の指導を行うため、2011年5月に組織化し、人工透析室を血液浄化センターに改称しました。



腎移植センター

腎移植センターでは、腎移植を受けられる患者さんとともに貴重な腎臓を提供していただく生体腎移植ドナーさんが安全に手術を受けられるように、そして術後もより健康に近い状態で健やかに過ごせるように、泌尿器科、腎・透析科、小児科の専門医師が連携して診療にあたっています。



生殖医療センター

大学病院の生殖医療センターとして、不妊・不育症治療、がん治療前の妊孕性温存、生殖外科手術など、生殖医療専門医が中心となり幅広く診療を行い、胚培養士と共に精子、卵子、胚を取り扱い、難治性不妊・不育症に対する治療も提供しています。



認知症疾患医療センター

認知症疾患医療センターは、認知症患者さんとそのご家族が住み慣れた地域で安心して生活ができるための支援として、兵庫県からの指定を受け、鑑別診断、専門医療相談、地域に向けた情報発信等を行っています。



中皮腫センター

社会問題としてマスコミ等で大きく報道されているアスベストによる健康障害【中皮腫、肺がん、石綿肺など】について、2006年から当センターでは診断、治療、研究を専門として、社会貢献を行ってまいりました。近畿圏の拠点病院ですが、全国からの紹介患者さんやセカンドオピニオンに対応しています。

中皮腫アスベスト疾患センターおよび受診者の流れ



肥満症センター

肥満症は単に体重が多いだけでなく、糖尿病、高血圧、脂質異常症などを合併した状態で、心臓病などがおこりやすいことが知られています。病状に応じて、食事療法、運動療法、行動療法、薬物療法から減量・代謝改善手術まで、総合的に肥満症の治療に取り組めます。



医療支援センター

患者さんの外来受診、入院、退院（転院）、在宅ケアにいたるまで切れ目のないサービスを提供するため、2017年4月、外来支援、入院支援、退院支援、病床調整、地域調整の機能を統合した「医療支援センター」を設置しました。医師、看護師、ソーシャルワーカー、メディカルスタッフ、事務員など、多職種が連携して、患者さんをサポートします。



脳卒中センター

当センターでは一刻を争う脳卒中診療を迅速に行うために、24時間365日体制で診療を行っています。脳卒中ケアユニット（Stroke Care Unit：SCU）を9床設置し、多職種で連携をとり、脳卒中に特化した質の高い治療を脳卒中を発症した当日から提供しています。



放射線医療センター

放射線医療センターは、画像診断部門、放射線治療部門、IVR部門、PET部門の4部門から構成されています。総合的な画像診断や、画像を用いたIVR治療、癌に対する放射線治療を行っています。



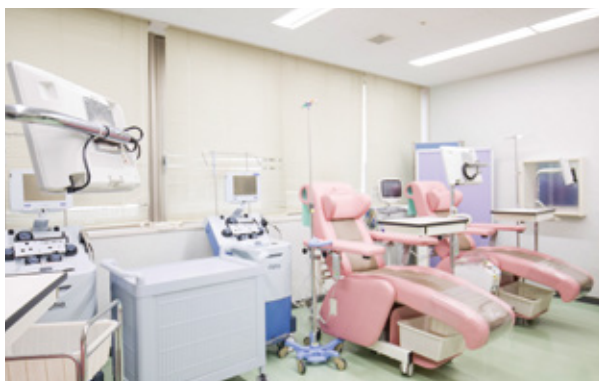
PETセンター

がんの早期発見、再発・転移などの診断に力を発揮するPETを中心とした核医学・PETセンターとして2006年11月に設立しました。現在はPET/CT装置2台で検査を行っています。2024年1月より、アルツハイマー病の治療薬の適応決定に必要なアミロイドPET検査（保険適応）も他の医療機関から受け付けて実施しています。



輸血・細胞治療センター

輸血検査や細胞機能検査、血液製剤の管理や細胞の調製、移植や細胞治療に用いる細胞の品質管理を行い、安全かつ効果的な輸血療法と細胞治療を支えています。



内視鏡センター

内視鏡センターでは、消化管（食道、胃、十二指腸、小腸、大腸）、胆・膵、呼吸器のそれぞれの分野の専門家が、専属の看護師、臨床工学技士、検査技師と協力して診療にあたっています。7つの内視鏡室、リハビリ室、大腸前処置室を有する内視鏡センターにて、AIを含めた最新の機器を用いて、質の高い内視鏡検査・治療を行っています。

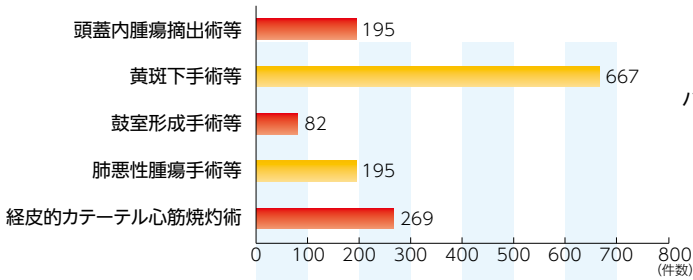


情報通信機器を用いた診療に係る基準	外来腫瘍化学療法診療料1、連携充実加算	硬膜外自家血注入	腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
地域歯科診療支援施設歯科初診料	外来腫瘍化学療法診療料1の注9に規定する個人薬物療法体制充実加算	人工腎臓	腹腔鏡下咽門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
歯科外来診療医療安全対策加算2	療養・就労自立支援指導料の注2に掲げる相談支援加算	導入期加算3及び替代療法実績加算	腹腔鏡下胃腸小腸(スリーブ状切除によるもの)
歯科外来診療感染対策加算4	開放型病院共同指導料	透析液水質確保加算及び慢性維持透析経過加算	腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
歯科診療特別対応連携加算	ハイリスク妊産婦連携指導料1	血漿交換療法、透析性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDAフェリタシス療法	バルーン閉塞下逆行性経静脈的瘻性切除
医療DX推進体制整備加算	ハイリスク妊産婦連携指導料2	移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
特定機能病院入院基本料	がん治療連携計画策定料	ストーマ合併症加算	胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢十二指腸切除及び肝切除(葉上)を伴うものに限る。)
救急医療管理加算	肝炎インターフェロン治療計画料	歯周組織再生誘導手術	腹腔鏡下肝切除術
超急性期脳卒中加算	検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	手術時歯根面レーザー応用加算	腹腔鏡下肝切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
診療録管理体制加算1	外來排尿自立指導料	顎関節人工関節全置換術(歯科)	生体部分肝移植術
医師事務作業補助体制加算1 15対1	こころの連携指導料Ⅱ	広範顎骨支持型装置埋入手術	腹腔鏡下脾腫瘍摘出術
急性期看護補助体制加算(50対1)	薬剤管理指導料	レーザー機器加算	腹腔鏡下脾体尾部腫瘍切除術
夜間100対1急性期看護補助体制加算	検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	皮膚悪性腫瘍切除術(皮膚悪性腫瘍センチネルリンパ節生検加算を算定する場合)	腹腔鏡下脾体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
急性期看護補助体制加算の注3に掲げる夜間看護体制加算	医療機器安全管理料1	組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	腹腔鏡下膵膵頭部腫瘍切除術
急性期看護補助体制加算の注4に掲げる看護補助者体制充実加算1	医療機器安全管理料2	処理術再建加算	腹腔鏡下膵膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合を含む)
看護職員夜間配置加算 看護職員夜間12対1配置加算1	精神科退院時共同指導料2	骨悪性腫瘍、頰骨腫瘍及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法	腹腔鏡下膵膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
看護補助加算2	救急患者連携搬送料	骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	早期悪性腫瘍大腸膵臓下層剥離術
看護補助加算2の注4に掲げる看護補助体制充実加算1	在宅酸素療法指導管理料の注2に規定する遠隔モニタリング加算	骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植)	内視鏡的小腸ポリープ切除術
無菌治療室管理加算1	在宅酸素療法指導管理料の注2に規定する遠隔モニタリング加算	後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	腹腔鏡下直腸癌・切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
無菌治療室管理加算2	在宅経肛門の自己洗滌指導管理料	椎間板内静脈注入療法	腎臓凍結固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
緩和ケア診療加算	持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	腫瘍骨性骨全摘術	腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
精神科棟入院時医学管理加算	口腔癌定量検査	緊急穿頭血腫除去術	腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
精神科身体合併症管理加算	遺伝学的検査	内視鏡下脳腫瘍生検術	腹腔鏡下腎盂形成術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
精神科リハビリテーション加算	染色体検査の注2に規定する絨毛染色体検査	内視鏡下脳腫瘍摘出術	同種死体腎移植術
摂食障害入院医療管理加算	骨髄微小残存病変定量測定	脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)	生体腎移植術
栄養サポートチーム加算	BRCA1/2遺伝子検査	癌性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	膀胱水腫摘出術
医療安全対策加算1	がんゲノムプロファイリング検査	脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
感染対策向上加算1、指導強化加算	角膜シフトオーバー遺伝子検査	仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(便失禁)	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡支援機器を用いる場合)
患者サポート体制充実加算	先天性代謝異常常症検査	角結膜悪性腫瘍切除術	尿管狭窄グラフト再建術
重症患者初期支援充実加算	咀嚼能力検査	羊膜移植術(内皮移植加算)	人工尿道括約筋植込・置換術
報告書管理体制加算	感染症免疫学的検査 抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体	羊膜移植術	膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	精密触覚機能検査	緑内障手術(流出路再建術(内視鏡))	埋没陰茎手術
ハイリスク妊産婦管理加算	抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	精囊温存手術
ハイリスク分娩管理加算	微生物核酸同定・定量検査 HPV核酸検査及びHPV核酸検査(陽性/陰性判定)	緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	陰囊水腫手術(鼠径区切開によるもの)
呼吸ケアチーム加算	微生物核酸同定・定量検査 ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(髄液)	緑内障手術(濾過路再建術(needle法))	精巣内精子採取術
術後疼痛管理チーム加算	検体検査管理加算(M)	毛様体光凝固術(眼内内視鏡を用いるものに限る。)	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
病棟薬剤業務実施加算1	国際標準検査管理加算	網膜剥離組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	女子外性器悪性腫瘍手術 センチネルリンパ節生検加算
病棟薬剤業務実施加算2	遺伝カウンセリング加算	網膜再建術	腹腔鏡下仙骨腫瘍摘出術
データ提出加算2	遺伝性腫瘍カウンセリング加算	植込型骨導聴器(直接振動型)植込術	腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
入院支援加算の注4に規定する地域連携診療計画加算	心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	耳管用補綴材挿入術	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がらにに限る。)
入院支援加算の注7に規定する入院時支援加算	時間内歩行試験及びシヤトルウォーキングテスト	経外耳道の内視鏡下鼓室形成術	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がらにに限る。)
認知症ケア加算1	胎児エコー法	人工中耳植込術	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がらに對して内視鏡用支援機器を用いる場合)
せん妄ハイリスク患者ケア加算	ヘッドアップリアルタイム試験	人工中耳植込術、植込型骨導聴器移植術及び植込型骨導聴器交換術	腹腔鏡下子宮癌癌部修復術
精神疾患診療体制加算	長期継続頭蓋内脳波検査	内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	乳房切除術(遺伝性乳癌卵巣癌疾患症候群患者に限る。)
排尿自立支援加算	脳波検査判断料1	経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)	体外式膜型人工肺管理料
地域医療体制確保加算	神経学的検査	鏡視下頭頸悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	輸血管理料I
救命救急入院料1	補聴器適合検査	鏡視下頭頸悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	コーディネート体制充実加算
救命救急入院料の注1に掲げる算定上限日数基準	黄斑局所網膜電図・全視野精密網膜電図	鏡視下頭頸悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	自己生体組織接着剤作成術
救命救急入院料の注2に掲げる精神疾患診断治療初回加算	ロービジョン検査判断料	乳がんセンチネルリンパ節(節)加算1及びセンチネルリンパ節(併用)	自己プリオリプレシブト作製術(用手法)
救命救急入院料の注8に掲げる早期離床・リハビリテーション加算	コンタクトレンズ検査料1	乳がんセンチネルリンパ節(節)加算2及びセンチネルリンパ節(単独)	同種クオリオプレシブト作成術
特定集中治療室管理料1	小児食物アレルギー負荷検査	乳癌悪性腫瘍手術(乳癌温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳癌温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
特定集中治療室管理料の注1に掲げる算定上限日数基準	経尿静脈的肝生検	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	麻酔管理料I
特定集中治療室管理料の注4に掲げる早期離床・リハビリテーション加算	経気管支凍結生検法	乳癌悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法	麻酔管理料II
特定集中治療室管理料の注5に掲げる早期栄養介入管理加算	画像診断管理加算4	胸腔鏡下拡大胸腔摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	放射線管理料の注に掲げる周術期薬剤管理加算
ハイケアユニット入院医療管理料2	ポジットロン断層撮影	胸腔鏡下縮隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	麻酔治療専任加算
脳卒中ケアユニット入院医療管理料	ポジットロン断層撮影(アマロイドPETイメージングを用いた場合に限る。)	気管支バルブ留置術	外来放射線治療加算
脳卒中ケアユニット入院医療管理料の注3に掲げる早期離床・リハビリテーション加算	ポジットロン断層・コンピューター断層複合撮影	胸腔鏡下肺切除術(区域切除及び肺葉切除又は1肺葉を超えるものに限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	フランク・プリッジ維持管理料
総合周産期特定集中治療室管理料	ポジットロン断層・コンピューター断層複合撮影(アマロイドPETイメージングを用いた場合に限る。)	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	高エネルギー放射線治療
新生児治療回復室入院医療管理料	CT撮影及びMRI撮影	肺悪性腫瘍手術(壁胸・臓膜剥離全切除(横隔膜、心臓合併切除を伴うもの)に限る。)	一回線量増加加算
小児入院医療管理料2	冠動脈CT撮影加算	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除及び肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	強度変調放射線治療(IMRT)
小児入院医療管理料2の注2に規定する加算(保育士1名の場合)	冠動脈CT撮影加算	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	画像誘導放射線治療(IGRT)
小児入院医療管理料の注7に掲げる養育支援体制加算	外傷全身CT加算	肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法	体外照射呼吸性移動対策加算
歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	血流予備量比コンピューター断層撮影	高エネルギー放射線治療(内視鏡によるもの、内視鏡下胃・十二指腸穿孔乳癌乳癌切除術(内視鏡によるもの))	う蝕無痛的高濃度形成加算
ウイルス疾患指導料の注2に規定する加算	心臓MRI撮影加算	胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	定位放射線治療
心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	乳房MRI撮影加算	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルを用いるもの)	定位放射線治療呼吸性移動対策加算
糖尿病合併症管理料	頭部MRI撮影加算	胸腔鏡下弁形成術	歯科技工士連携加算1及び光学印象歯科技工士連携加算
がん性疼痛緩和指導管理料	全身MRI撮影加算	胸腔鏡下弁形成術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	歯科技工士連携加算2
がん性疼痛緩和指導管理料の注2に規定する難治性がん性疼痛緩和指導管理料	抗悪性腫瘍剤処方管理加算	経カテーテル大動脈弁置換術	画像誘導密封小線源治療加算
がん患者指導管理料I	連携充実加算	胸腔鏡下弁置換術	CAD/CAMインレー
がん患者指導管理料II	外来化学療法加算1	経皮的僧帽弁クリップ術	保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による前中迅速病理組織標本作成
がん患者指導管理料III	無菌薬剤処理料	不整脈手術 左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)	保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速病診
がん患者指導管理料IV	心血管疾患患リハビリテーション料(I)	経皮的左心室心筋焼灼術	保険医療機関間の連携による病理診断
がん患者指導管理料V	脳血管疾患患リハビリテーション料(I)	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	病理診断管理加算2
がん患者指導管理料VI	脳血管疾患患リハビリテーション料(II)	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リドスペースメーカー)	悪性腫瘍病理組織標本加算
がん患者指導管理料VII	呼吸器リハビリテーション料(I)	両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	口腔病理診断管理加算2
外来緩和ケア管理料	摂食機能療法(注3)に規定する摂食嚥下機能回復体制加算2	両心室ペースメーカー移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下埋込リードを用いるもの)、植込型脳神経刺激装置(その他のもの)及び経静脈神経刺激装置(その他のもの)の移植(経静脈神経刺激装置の場合)	看護職員処遇改善評価料
移植後患者指導管理料(臓器移植後)	がん患者リハビリテーション料	両心室ペースメーカー移植術(両心室ペースメーカー交換術)	歯科外来・在宅ベースアップ評価料(I)
移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	通院・在宅治療法の注8に掲げる療養生活継続支援加算	大動脈バルーンパンピング法(IIABP法)	入院ベースアップ評価料
糖尿病透析予防指導管理料	認知療法 認知行動療法1	経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	歯科外来・在宅ベースアップ評価料(II)
外来放射線照射診療料	精神科作業療法	補助人工心臓	入院ベースアップ評価料(III)
乳癌重症化予防ケア	抗精神特定薬剤治療指導管理料(治療低劣性失調治療指導管理料に限る)	経皮的下肢動脈形成術	歯科外来・在宅ベースアップ評価料(IV)
婦人科特定疾患治療管理料	医療保護入院等診療料	腹腔鏡下リンパ節郭清術(後腹膜)	
腎代替療法指導管理料	口腔粘膜癌	腹腔鏡下リンパ節郭清術(傍大動脈)	
一般不妊治療管理料	静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)	腹腔鏡下リンパ節郭清術(側方)	
生殖補助医療管理料1	多小血小板血象	骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法	
二次性骨折予防継続管理料1	歯根端切除手術	内視鏡的逆流防止粘膜切除術	
二次性骨折予防継続管理料3	手術用顕微鏡加算	腹腔鏡下十二指腸腸所切除術(内視鏡支援を併施するもの)	
下腔制癌処置管理料			
慢性腎臓病透析予防指導管理料			

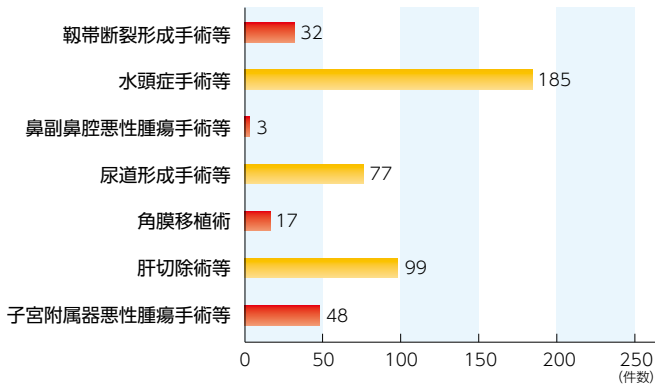
施設基準の設定されている手術件数

2025年1月～12月

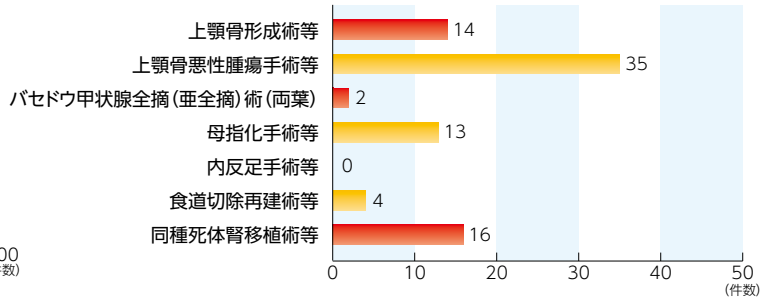
1. 区分1に分類される手術



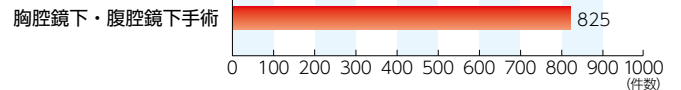
2. 区分2に分類される手術



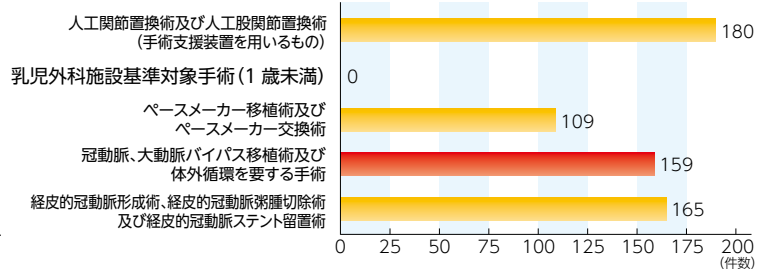
3. 区分3に分類される手術



4. 区分4に分類される手術



その他の区分に分類される手術



先進医療の承認状況

2026年2月現在

本学病院は、厚生労働大臣から次の先進医療の承認を受けております。

術後のアスピリン経口投与療法

適応症 下部直腸を除く大腸がん(ステージがⅢ期であって、肉眼による観察及び病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)
診療科 下部消化管外科
特別料金(自費料金) 0円 ※薬剤費 7,294円については無償提供

子宮内膜刺激術

適応症 着床障害
診療科 産科婦人科
特別料金(自費料金) 14,810円

タイムラプス撮像法による受精卵・胚培養

適応症 不妊症
診療科 産科婦人科
特別料金(自費料金) 32,000円

アスピリン経口投与療法 家族性大腸腺腫症

適応症 家族性大腸腺腫症
診療科 消化器内科(消化管)
特別料金(自費料金) 0円 ※薬剤費 4,160円については無償提供

子宮内膜受容能検査 1

適応症 不妊症
診療科 産科婦人科
特別料金(自費料金) 103,050円

子宮内細菌叢検査 1

適応症 慢性子宮内膜炎疑い
診療科 産科婦人科
特別料金(自費料金) 56,850円

術前のゲムシタピン静脈内投与及びナブパクリタキセル静脈内投与の併用療法

適応症 切除が可能な膵臓がん(七十歳以上八十歳未満の患者に係るものに限る。)
診療科 肝・胆・膵外科
特別料金(自費料金) 2,400円

テネクテプラーゼ静脈内投与療法

適応症 発症から 4.5時間以内の脳梗塞
診療科 脳神経外科
特別料金(自費料金) 0円 ※薬剤費 283,292円については無償提供

ヒアルロン酸を用いた生理学的精子選択術

適応症 不妊症
診療科 産科婦人科
特別料金(自費料金) 10,190円

抗ネオセルフβ2グリコプロテインI複合体抗体検査

適応症 不妊症
診療科 産科婦人科
特別料金(自費料金) 36,000円

子宮内細菌叢検査 2

適応症 不妊症(卵管性不妊、男性不妊、機能性不妊又は一般不妊治療が無効であるものであって、これまで反復して着床又は妊娠に至っていない患者に係るものに限る。)、慢性子宮内膜炎が疑われるもの、難治性細菌性陰症
診療科 産科婦人科
特別料金(自費料金) 40,950円

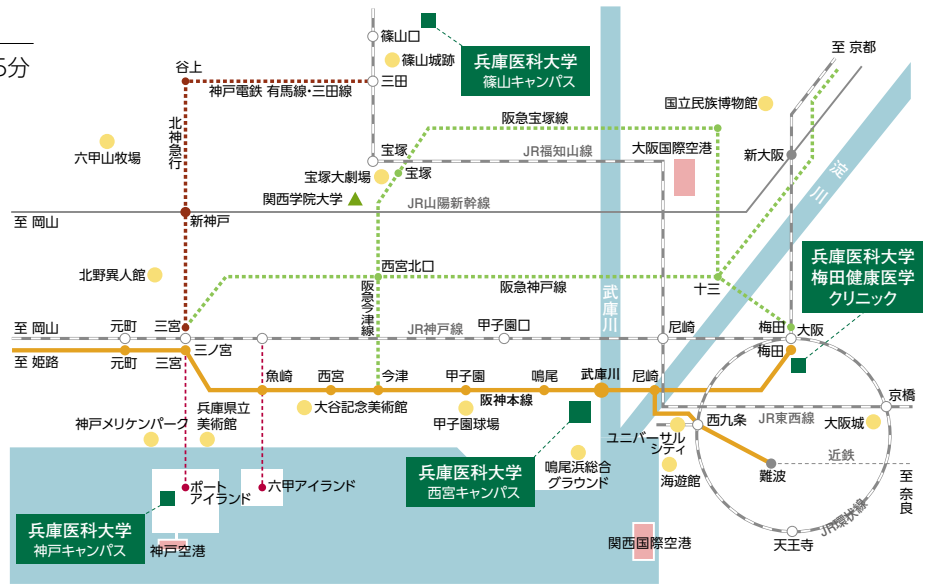
膜構造を用いた生理学的精子選択術

適応症 不妊症(卵管性不妊、男性不妊、機能性不妊又は一般不妊治療が無効であるものに限る。)
診療科 産科婦人科
特別料金(自費料金) 31,100円

交通のご案内

電車・タクシーでご来院される場合

- ◆ 阪神電車(本線) 武庫川駅下車、西出口より徒歩5分
- ◆ 阪神電車・甲子園駅下車、タクシーで約5分
- ◆ JR甲子園口駅下車、タクシーで約10分



お車でご来院される場合

- ◆ 神戸方面から
阪神高速神戸線「西宮」出口から国道43号線へ
国道43号線「鳴尾」交差点で阪神高速の武庫川
入口の側道に入り、3つ目の交差点を左折(→)
- ◆ 大阪方面から
阪神高速神戸線「武庫川」出口から国道43号線へ
国道43号線「鳴尾」交差点を左折、1つ目の
交差点を左折、3つ目の信号を左折(→)
国道43号線「鳴尾」交差点を右折(Uターン)
- ◆ 西宮(JR・阪急)方面から
武庫川沿い(西宮市側)を南下(→)または
小曾根線を南下、阪神電車踏切を通過し
国道43号線「鳴尾」交差点を左折(→)
- ◆ 名神高速
「西宮インター」から国道43号線(大阪方面)へ



兵庫医科大学病院

特定機能病院

〒663-8501

兵庫県西宮市武庫川町1番1号

TEL.0798-45-6111(代表)

<https://www.hosp.hyo-med.ac.jp>